



所属施設： 受験番号：

氏名：

運営	計算	知識	合計
/24	/12	/64	/100

「運営問題」 理想所要時間 20 分

1. 現在 4 社がケアマイスター制度を導入しています。複数で同じ制度を運営している中で、合格率や現場力といった力量の差が試験を通して見えてきています。1 つの制度に複数の会社に参加している状況において、ケアマイスター制度の現在とこれからについて考え、以下の問いに答えなさい。

- (1) マイスタークラスに合格することは今後の受験者や参画企業に試験を通してよりよい効果をもたらしていく側にまわることを意味します。あなた自身は合格後、どのような形で貢献しようと考えますか。具体的に 2 つ答えなさい (配点 2×2)

※交換研修はすでに実施済みなので対象外です。

- (2) 制度導入時期は参画企業によってバラバラです。参画企業間の制度運営力の差を埋めるために、合同研修を実施することになりました。研修プログラムを企画するためにどういう部分に差が出てきやすいか考え、その差を埋めるにはどのような施策が有効か、具体的なアイデアを答えなさい。(配点 1 + 2)

差が出てきやすい部分	
差を埋める施策	

2. 交換研修についての問いに答えなさい。

- (1) 日本ケアマイスター協会では今年度より、法人の枠をこえて学びを得られる機会として交換研修を実施しています。交換研修の参加者を社内から選出する際、あなたならどのように人選しますか。具体的な基準を、意図がわかるように説明しなさい。(配点 1 点 / 基準の適切さ + 2 点 / 意図の納得度)

※「自社を代表するにふさわしい」といった抽象的な基準では不十分です。

- (2) あなたが交換研修に参加するなら、どのようなサービスを展開している法人/事業部に行きたいですか。自分の所属・希望するサービス・理由を答えなさい。(配点 2)

所属	希望するサービス	理由



3. 令和 6 年度介護報酬改定の取り組み項目の 1 つ「高齢者虐待防止の推進」の中で、虐待の発生またはその再発を防止するための措置が講じられていない場合に、基本報酬が減算される事が盛り込まれました。身体拘束・虐待防止の取り組みについて、以下の問いに答えなさい。

【問題】あなたの所属する特別養護老人ホームの身体拘束・虐待防止委員会では、3 つのフロアごとに褥瘡・骨折・皮下出血の発生数を管理しています。下記表は今年度の発生状況を取りまとめたものです。

	平均介護度	身体拘束実施数	褥瘡	骨折	皮膚トラブル
2F	3.5	2	2	3	8
3F	4.0	9	5	8	8
4F	4.5	3	10	2	10

(1) 3F・4F フロアの課題に対して、①その課題が発生している原因の仮説を立て、②解決に向けて行う取り組み内容を答えなさい。（配点①1×2 + ②2×2）

	課題	① 課題が発生している原因の仮説	② 取り組み内容
3F	骨折が多い 身体拘束数が多い		
4F	褥瘡が多い 皮膚トラブルが多い		

(2) 3フロア共通の課題として皮下出血や表皮剥離等の皮膚トラブルの増加が挙げられます。高齢者の皮膚は非常に弱く傷つきやすい状態であり、事故報告の内訳でも皮膚トラブルが上位を占めている状況です。皮下出血や表皮剥離を減らすために日常から行える取り組みを答えなさい。（配点 2）

--

(3) 入所者の怪我が不適切なケアや虐待によるものである可能性をゼロにするために、マニュアルの作成と研修の実施以外で取り組める内容を答えなさい。（配点 2）

--

(4) 今回の法改正では「高齢者虐待防止の推進」以外に、以下の 6 項目が挙げられています。この中から 1 つ選びあなたが所属する施設（部署）で取り組む内容を答えなさい。（配点 2）

- | |
|---|
| ①医療と介護の連携の推進 ②質の高い公正中立なケアマネジメント ③地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取組
④感染症や災害への対応力向上 ⑤高齢者虐待防止の推進 ⑥認知症の対応力向上 ⑦福祉用具貸与・特定福祉用具販売の見直し |
|---|

番号	内 容



「計算問題」 理想所要時間 30 分

1. 下の表は、訪問介護事業所の 1 ヶ月の収支です。以下の問いに答えなさい。

	前年度（月当たり）	今年度（月当たり）	来年度予算（月当たり）
売り上げ（介護サービスのみ）	2,639,000 円/月	2,825,680 円/月	④（ ）
支出	2,570,386 円/月	2,684,396 円/月	2,935,000 円/月
収支差率	①（ ）	5.0%	8.0%
訪問 1 回あたりの収入	3,625 円/回	3,718 円/回	_____
1 ヶ月の延べ訪問回数	728 回/月	②（ ）	_____
常勤換算数	6.3 人/月	6.8 人/月	6.2 人/月
常勤換算 1 人当たりの給与	315,262 円/月	332,245 円/月	348,000 円/月
常勤換算 1 人当たりの訪問回数	115.6 回/月	111.7 回/月	130 回/月
常勤換算 1 人当たりの活動収入	418,889 円/月	③（ ）	_____

※収支差率とは、売上金額に対する利益の割合を測る指標

（1）上の表の①～③にあてはまる数字を書きなさい。※①小数点第二位切り上げ②③小数点第一位切り上げ。（配点 1×3）

（2）前年度と今年度の実績を比較・分析することになりました。下の（ ）に当てはまる数字を書きなさい。※⑦～⑩小数点第二位切り上げ。（配点 1×3）

物価上昇、平均賃金の上昇を受け、常勤換算 1 人当たりの給与は⑦（ ）%上昇したことで、人件費率は前年度の 75.3%から

⑧（ ）%に上昇した。しかし、人件費以外の支出を前年度対比⑨（ ）%に抑えることができており、収支差率は前年度よりも上昇している。

（3）来年度の予算を立てるにあたり、スタッフ数は常勤換算で 6.2 人になることがわかっています。（2）の分析と物価上昇を鑑み、来年度の支出を 2,935,000 円（月当たり）としました。来年度予算の収支差率は 8%としたとき、収入予算は④（ ）円となる。※小数点第一位切り上げ。（表④）（配点 2）

（4）予算の達成に向け、一人当たりの訪問件数を増加することが出来ないか、ルートの見直しなどを行い、常勤換算 1 人当たりの訪問件数は 130 件まで可能であると試算しました。今年度の実績から考えると、月当たりの収入は（ ）円となり、予算収入を達成できない。（配点 2）



(5) 下の表は独立行政法人福祉医療機構がまとめた訪問介護の経営状況です。このデータと自施設のデータを見比べて、改善の余地がある項目とその理由を記載しなさい。(配点 2)

(図表 5) 2021 年度の経営状況 (黒字・赤字別)

区分	単位	黒字	赤字	差 黒字 -赤字
事業所数	—	1,106	740	—
うち社会福祉法人の割合	%	69.9	72.3	△2.4
うち営利法人の割合	%	23.0	15.5	7.4
サービス活動収益	千円	50,012	25,667	24,345
サービス活動費用	千円	42,273	29,863	12,409
1 月当たり提供回数	回	1,011.9	557.2	454.7
収入単価	円	4,119	3,839	280
1 事業所当たり従事者数	人	9.1	6.9	2.1
うち介護職員数	人	8.0	6.0	2.0
利用者 10 人当たり従事者数	人	1.26	1.23	0.03
人件費率	%	66.7	96.3	△29.6
経費率	%	15.4	15.5	△0.1
減価償却費率	%	1.0	1.6	△0.6
サービス活動増減差額比率	%	15.5	△16.4	31.8
従事者 1 人当たりサービス活動収益	千円	5,521	3,697	1,824
従事者 1 人当たり人件費	千円	3,682	3,561	121

項目	
理由	

≪知識問題≫ 理想所要時間 50 分

1. 令和 6 年度の介護報酬改定について、以下の問いに答えなさい。

(1) 看取りへの対応強化について以下の問いに答えなさい。(配点 1×3)

①居宅介護支援事業所におけるターミナルケアマネジメント加算が算定できる対象者の変更内容について答えなさい。

②看取り期の利用者に対して、医師や訪問看護等の他職種と連携を強化することで、新たに「看取り連携体制加算」を算定できるようになったサービス名を答えなさい。

③看取り期の利用者に対してレスパイト機能を果たし、看護職員の体制確保や対応方針を定めることで、新たに「看取り連携体制加算」を算定できるようになったサービス名を答えなさい。

(2)介護報酬について下記の問いに答えなさい。

①訪問介護の基本介護報酬が引き上げられることになったおもな原因は何か答えなさい。(配点 2)

②あなたは訪問介護事業所の管理者です。基本報酬の引き下げに対応するためにできる取り組みを考え答えなさい。(配点 2)

(3) 令和 6 年度から義務となる、災害などの緊急事態における企業や団体が策定する計画とは何か答えなさい。(配点 1)

2. 地域支援事業等について、不適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

① 地域支援事業は、介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業から構成される。

② 成年後見制度の活用促進等の権利擁護事業は、任意事業の一つである。

③ 地域包括支援センターは、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の 3 職種を基本として配置する。

④ 地域ケア会議の地域包括支援センターが開催し、地域課題の発見や措置入所の判定を行っている。

⑤ 地域包括支援センターは、市町村が運営する直営型と医療法人や社会福祉法人が運営する委託型がある。



3. 居宅サービス事業等の運営基準について、不適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2）

- ① 利用申込者が通常の実施地域外である場合、正当な理由があるとしてサービス提供を拒むことができる。

② 利用者に提供した具体的なサービス記録は、その開始の日から2年間保存しなければならない。

③ 居宅療養管理指導と訪問入浴介護を除くサービス事業者は、居宅支援事業所からの求めに応じて個別サービス計画を提供するよう努めなければならない。

④ 2024年4月より、福祉・医療関係の資格を有さない者については認知症介護基礎研修を受講させるために必要な措置を講じるよう義務付けられた。

⑤ 利用者の要介護認定の更新申請が遅くとも有効期間が終了する60日前にはなされるよう必要な援助を行う必要がある。
-

4. 保険者(市町村)・都道府県・国の責務について、以下の問いに答えなさい。

(1) ①～⑦の介護保険にかかわる事務を保険者・都道府県・国のうちどちらが担っているか、それぞれ番号で答えなさい。（配点 1×3）

- ① 介護認定審査会の設置

② 区分支給限度額の決定

③ 指定介護予防サービスの人員・設備・運営に関する基準の設定

④ 第2号被保険者の費用負担割合

⑤ 地域包括支援センターの設置

⑥ 介護保険審査会の設置・運営

⑦ 介護サービスの情報公表

保険者(市町村)	都道府県	国

(2) 厚生労働省に設置され、介護報酬の算定基準やサービス提供事業者の人員・設備・運営に関する基準を定める条例にかかる基準を設定等にあたって、厚生労働大臣が意見を聴かなければならない会を何と呼ぶか答えなさい。（配点 1）

5. 介護保険法と他法との給付調整について、どちらが優先されるか「>」または「<」で答えなさい。（配点 1）

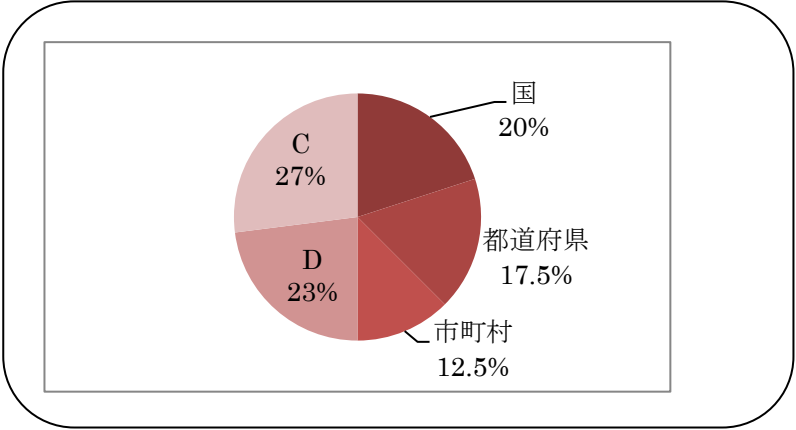
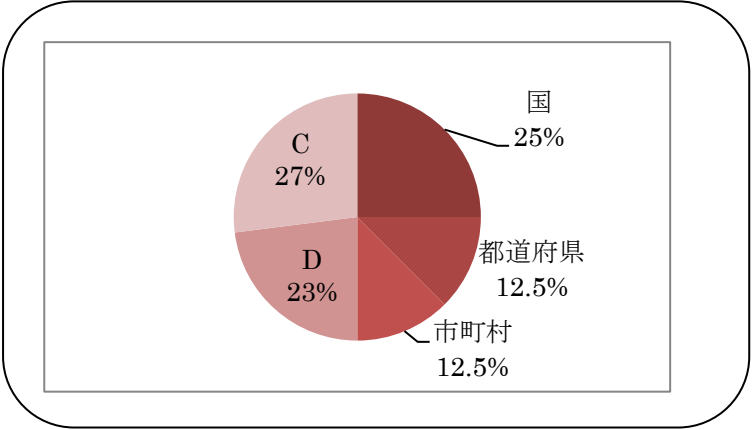
介護保険法	※例 >	障害者総合支援法
	①	医療保険各法
	②	生活保護法
	③	労働災害補償保険法
	④	老人福祉法

6. 介護保険制度の財政について、以下の問いに答えなさい。

(1) 下記グラフについて、ABCDに当てはまる語句の正しい組み合わせを番号で選びなさい。（配点 1）

① (A) 費

② (B) 費



- ① A 居宅給付 - B 施設等給付 - C 第1号被保険者 - D 第2号被保険者

② A 施設等給付 - B 居宅給付 - C 第1号被保険者 - D 第2号被保険者

③ A 居宅給付 - B 施設等給付 - C 第2号被保険者 - D 第1号被保険者

④ A 施設等給付 - B 居宅給付 - C 第2号被保険者 - D 第1号被保険者
-

(2) 以下の文章内容に合うよう【 】内は語句、()内は数字を記入しなさい。（配点 1×6）

■第1号被保険者の保険料の額は、【①】が条例で定める保険料率に基づいて算定されます。保険料率は（②）年に1度見直される。個々の被保険者の保険料は負担能力に応じた（③）段階の所得段階定額保険料となっている。また、1年以上滞納した場合、現物給付の保険給付が【④】になるペナルティを課せられる。

■財政安定化基金は、【⑤】が設置し、給付費の増大や保険料未納などにより介護保険財政に不足が生じた際に貸し付ける制度。国、都道府県、市町村がそれぞれ負担し、市町村の負担分は【⑥】の保険料で賄います。



7. 在宅の医療管理について、説明文に合うよう①～④の空欄に当てはまる医療処置名を記入しなさい。（配点 1×4）

	医療処置名	説明文
①		心疾患や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患などが使用。会話や食事のしやすい鼻カニューレを使用することが一般的である。気管切開をしている場合は、トラキマスクを使用する。
②		鎖骨付近からカテーテルを挿入し、点滴栄養剤を血管に直接入れる方法。長期に異物が体内にあるため、細菌感染を引き起こすことがある。
③		大腸がんや膀胱がんなど消化管や尿路の障害によって、通常の排泄ができなくなったときに人工的に増設する排泄口のこと。
④		腎不全などにより腎機能が障害されたときに、腎臓の代わりに機械で血液の老廃物を除去し水分や電解質の調整をおこなう方法。方法が 2 種類あり、血液を使って行う場合は原則病院などの施設に通い処置を受ける。

8. 臨床検査数値と疾患名・状態の表を完成させなさい。（配点 1×5）

臨床検査数値	指標	疾患名・状態
①	高値	糖尿病
C 反応性タンパク質（CRP）	高値	②
血清クレアチニン、BUN	高値	③
④	低値	低栄養
AST、ALT、 γ -GTP	上昇	⑤

9.介護支援について、以下の問いに答えなさい。

- （1）あなたは居宅支援事業所のケアマネジャーです。先日、同市内リハビリテーション病院の地域医療連携室より新規依頼の相談を受け付けました。来週開催される退院前カンファレンス出席に際し、提供された看護サマリーをもとに居宅サービス計画書（ケアプラン）原案を作成し持参することにしました。以下の看護サマリーを読み、Ⅰ、Ⅱの問いに答えなさい。

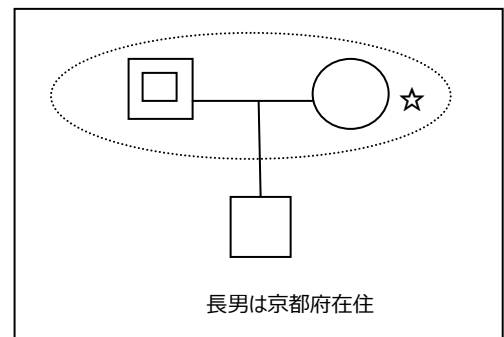
患者名： 羽鳥 善一（はとり ぜんいち）様 76 歳、男性、要介護 2

<生活歴>

香川県生まれ。大手企業に就職を機に来阪、65 歳定年まで勤め上げた。35 歳頃通勤に便利な尼崎市に 3 階建ての家を建て、現在も住んでいる。将棋が唯一の趣味で、定年後は地域の将棋会館に通い友人も多い。3 か月前に自宅で倒れ、脳梗塞と診断される。

<身体状況・ADL>

- 現病歴：高血圧症(内服中)、脳梗塞後左上下肢麻痺
- 左上下肢麻痺/ 両下肢筋力低下/ 左肩・肘関節に拘縮あり
- 障害高齢者の日常生活自立度：B1/ 認知症高齢者の日常生活自立度：Ⅰ
- 起き上がり：自身での起き上がりが困難で、一部介助が必要
- 座位：背もたれや手すりがあれば、安定している
- 立位・移動：手すり等があれば、立位保持可能。不安定ながらも室内でのつたい歩きや杖歩行は可能。屋外は車いす使用。
- 排泄：下衣類の着脱一部介助/ 尿意・便意あるが、間に合わないことがある
- 入浴動作・更衣：一部介助
- 社会活動・社会交流の状況：近隣とはあいさつ程度の付き合い/ 将棋会館に毎週月曜日通っていた



Ⅰ. 看護サマリーの情報から読みとれる羽鳥様の生活全般の解決すべき課題(ニーズ)を 2 つ挙げなさい。（配点 1×2）

例) 血圧を安定させ、再発を予防し体調を整えたい。
①
②



Ⅱ. I の①～②それぞれの課題に対し、活用するサービス名を挙げて、どのような援助内容(アプローチ)を実施するか具体的に答えなさい。(配点 2×2)

例) 主治医のもとで定期的に診察を受け、血圧管理や内服治療を継続する。

①

②

(2) ケアマネジャーが支援を行う上でケアプランを作成する目的を述べなさい。(配点 2)

例) 介護サービスの利用を調整し、同じ援助方針のもとそれぞれのサービスが必要な支援を円滑に行うため

(3) 以下の文章を、ケアプラン原案作成～完成までの工程となるよう () に適切な語句を書き入れなさい。(配点 1×2)

ケアプラン原案作成 ⇒ () 開催 ⇒ 利用者・家族へ内容説明 ⇒ () ⇒ ケアプラン完成

(4) 運営基準の 1 つに「ケアマネジャーはケアプランに位置付けたサービス事業所に個別サービス計画書の提出を求めることができる」とあるのは、どのような目的のためか答えなさい。(配点 2)

(5) ケアプラン作成後にケアマネジャーが行うモニタリングについて、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① モニタリングの主な目的は居宅サービスの実施状況の把握であり、利用者についての継続的なアセスメントは含まれない。
- ② モニタリングした内容は記録に残し、少なくとも 1 月に 1 回主治医の意見を求める必要がある。
- ③ モニタリング記録は、支援完結の日から 2 年間保存する義務がある。
- ④ 介護予防支援のモニタリングは、サービス開始翌月から 2 ヶ月に 1 回は利用者の居宅に訪問・面接を行わなければならない。
- ⑤ モニタリングで新たに生活上のリスクを把握した場合、有効期間であってもケアプラン内容を変更することができる。

--	--

10. 近年、世帯構成でみると、高齢者の独居世帯割合が増加しています。以下の表は、それぞれの特性について独居高齢者と同居者のいる高齢者とを比較したものです。独居高齢者にはどのような特徴があり、どのような問題を多く抱えているか、以下の問いに答えなさい。

表 1：都市地域における高齢者を対象とした調査データ

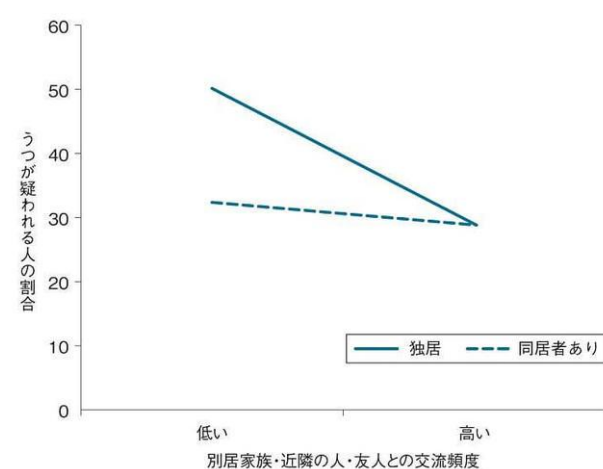
特性	独居高齢者	同居者のいる 高齢者
平均年齢（単位：歳）	76.9	74.9
性（男性の割合）	30.1	47.9
うつが疑われる割合	43.1	30.6
世帯年収（単位：万）	221	356
組織・団体への参加頻度（回/月）	4.47	5.00
別居親族・近隣・友人との交流頻度（回/月）	11.0	9.58
社会的支援スコア ※1	2.57	2.88

※1：手段的、情緒的、情動的支援について、提供してくれる人がいるという
支援の種類数の平均値

(1) 表 1 では、独居高齢者は同居者のいる高齢者より「うつが疑われる割合が高い」と読み取ることができます。表 1 より、うつのリスクが高まる要因を挙げ、考えられる改善策を答えなさい。(配点 1+2)

要因	
改善策	

表 2





- (2) 表 1 に表 2 のデータを加えることで、どのような分析ができるか答えなさい。(配点 2)

11. 下記は、新聞記事から抜粋した介護保険料滞納についての内容です。この内容に関連した以下の問いに答えなさい。

介護保険料滞納、差し押さえ最多 65 歳以上、約 2 万人

介護保険料を滞納して、預貯金や不動産といった資産の差し押さえ処分を受けた 65 歳以上の高齢者が増えている。

2018 年度は過去最多の 1 万 9221 人にのぼったことが、厚生労働省の調査でわかった。

(中略)

差し押さえを受ける人は、生活保護は受けていないが、受け取る年金がわずかで保険料を払えなくなった人が多いとみられる。保険料は 40 歳から支払うが、未収の保険料は 65 歳以上の分だけで約 236 億円(18 年度)にのぼる。

- (1) 介護保険料の支払い方法について、以下の文章に合わせて適語を記入しなさい。(配点 1×3)

徴収方法の名称	対象	徴収方法
(①))	年金額が年(③) 万円未満の高齢者	公的年金より天引き
(②))	年金額が年(③) 万円以上の高齢者	納付書で支払い/口座振替等で直接市町村に納付

- (2) 介護保険料を滞納し差し押さえ処分を受ける高齢者の人数は、年々増加傾向にあります。その背景にはどのような要因があるか、考えられる社会的要因を答えなさい。(配点 2)

- (3) 介護保険料を滞納した場合のペナルティには、差し押さえ処分を受けるまでに段階があります。どのようなペナルティがあるか、具体例を一つ挙げなさい。(配点 2)

- 12.被災地支援について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 災害や事故などで多数の負傷者が発生した場合に、災害発生直後から救助活動と並行して医療活動を行う医師、看護師、業務調整員などで構成された医療チームの名称を答えなさい。(配点 1)

- (2) 一次避難所と二次避難所の違いについて答えなさい。(配点 2)

- (3) 近年の自然災害の頻発から国や各自治体では、災害時に福祉専門職を中心に構成されたチームを派遣するシステムの構築が進められています。問題(1)の医療チームが「1 人でも多くの命を助けること」を主たる目的としているのに対し、福祉チームが求められている目的を答えなさい。(配点 2)